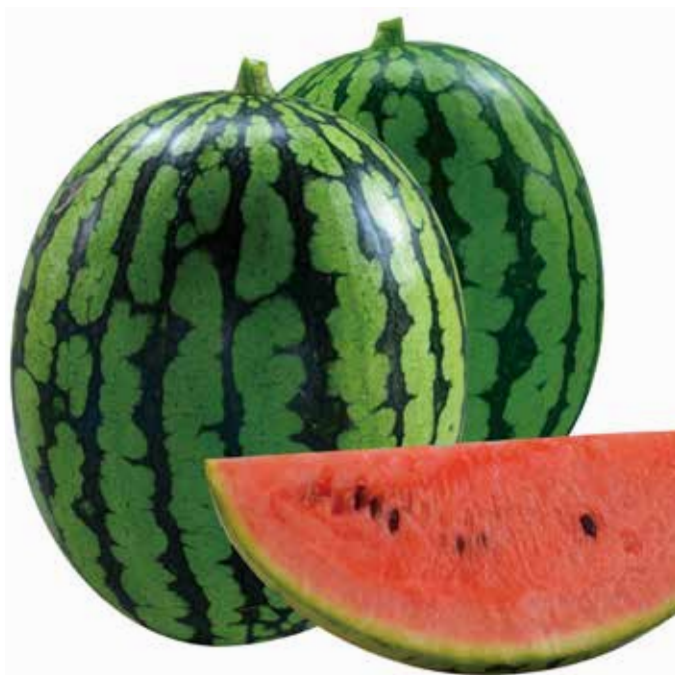


宇治交配 夏の姫まくら (MWX-941)

高温期の棚持ちに優れた、食味の良い楕円こだま！

特性

- ① 草勢はやや強く、葉は切れ込みの深い中葉で、低温伸長性に優れ、雌花の着生、雄花の花粉発生も良く着果が安定します。
- ② 果実は2~2.5kgの楕円形で果皮の緑色が濃く、中太の縞とのコントラストが鮮明な見栄えのする外観です。
- ③ 果肉は濃鮮紅色で色ムラが少なく、「姫まくら」より硬く、シャリ感の強い肉質で糖度も12度以上に安定します。
- ④ 果皮は4~5mmと薄いですが硬く、栽培中や輸送中の裂果が極めて少ない品種です。
- ⑤ 肉質が硬いため、トンネル~露地栽培に適します。7~8月の高温期収穫で、日持ち性に優れます。



栽培のポイント!

- ① 初期より草勢が旺盛なため、施肥量は前作や土質、作型によって加減し、大玉品種より20~30%減量します。また大苗で定植するようにします。
- ② 整枝方法は4~5本仕立て3果取りを推奨します。18~23節の3番花に着果させるとバランスのよい楕円形になります。

下記標準栽培表を参考に貴地の気候に合わせて栽培してください。

	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
大型トンネル					●	×	—	*	□				
中型トンネル					●	×	—	*	□				
露地キャップ					●	●	×	×	*	*	□ □		
抑 制	*	*	□	□							●	●	×	×

● 播種 育苗・接木 × 定植 — 生育 * 交配 □ 収穫